

令和4年度 第1回文化財保護委員会 会議録

開催日時	令和4年5月18日 火曜日 13時30分から15時まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1
出席者	森英夫教育長、鈴木一男委員長、島崎直人副委員長、 橘川昭夫委員、宮原俊一委員
事務局	椎野教育部長、竹本生涯学習課長代理、加藤生涯学習班長、 中山会計年度職員
その他	傍聴者なし

\*会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

会議記録

(司会：竹本生涯学習課長代理)

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3.

4. 教育長挨拶

5. 自己紹介

出席者及び事務局

6. 委員長、副委員長の選出

委員長に鈴木一男氏、副委員長に島崎直人氏を選出

7. 議題

(1) 令和4年度文化財保護関係事業及び予算について

事務局より令和4年度文化財保護関係事業及び予算について、資料に基づいて説明。

(委員長)

あるところで、指定文化財であった個人所有の古文書が、家の建て替えの時に廃棄されそうになったことがありましたが、二宮町では個人所有の指定文化財はありますか。

(事務局)

以前は江戸時代に「松屋御本陣」といわれた宿の記録が個人所有でしたが、数年前に町に寄贈され、現在個人所有の指定文化財は天然記念物のタブノキだけです。

(委員)

埋蔵文化財の試掘は年間にどのくらいあるのですか。また試掘調査は業者に委託するのですか。

(事務局)

年間、事前相談は50件ほど、そのうち届け出が必要なものが20件くらいで、試掘に至るのは2～3件です。試掘の調査は二宮町の埋蔵文化財担当職員2名で行っています。

(2) 令和4年度文化財関係事業予定について

(i) ふるさと再発見8の発行について

事務局よりふるさと再発見8の発行について、資料に基づいて説明。

(委員長)

遺物が町にないのは残念なのですが、諏訪脇横穴墓については研究者の間では広く知られており、冊子の発行は町民の皆さんにも知っていただく良い機会ですね。

(ii) 伊達時彰徳碑の説明板の改修について

事務局より伊達時彰徳碑の説明板の改修について資料に基づいて説明。

(委員長)

大磯駅のすぐ前に「海内第一避暑地の碑」というものがあります。これは明治41年に日本新聞社が国内の避暑地の順位付けをしようと募集したところ、大磯が1位になったのを記念して建てられたもので、漢文の銘文が彫られています。銘文を明記した説明板はありません。照ヶ崎海岸には松本順の謝恩碑がありますが、これも碑文の説明板はなかったと思います。

(委員)

碑文の内容が何かに書かれていて知りたい人が見られるなら、碑文の内容をそのまま説明板に記す必要はないのではと考えます。碑文と説明板は別物と割り切ったらどうでしょうか。

(事務局)

碑文の内容は『二宮町近代史話』の伊達時の項に載っています。それでは今回の改修にあたっては現在のものをそのまま作り直すのではなく、もう少しわかりやすい内容に変更したいと思います。原案がまとまりましたら委員の皆さまに見ていただき、ご意見を伺いますので、よろしく願いいたします。

(iii) 令和4年度ミニ展示について

事務局より令和4年度ミニ展示について資料に基づいて説明。

(事務局)

第1回目の展示は終了しましたが、タウンニュースに取り上げられたこともあり、多くの方にご覧いただけたようです。

(委員)

展示は町が保存する資料の良い活用になりますね。

(委員長)

議題は以上ですが、何か他にありますか。

(事務局)

先日、寅年に薬師如来をご開帳する寅薬師という行事が二宮町では4か所で行われ、町民の方が地域に残る文化財を知る良い機会となりました。ただ修復が必要になった場合、多額の費用がかかることもあり、地域だけで守っていかれるかが懸念されます。

(委員)

このようなことは他の町でも聞くことであり、難しい問題です。

(委員長)

他になれば議事進行を事務局にお返しいたします。

(事務局)

第2回目の文化財保護委員会は来年2月頃を予定しております。どうぞよろしくお願いたします。

7. 閉会